



たった15分でマスター ウサギの飼い方

一般社団法人日本コンパニオンラビット協会

目次

- ウサギが暮らしやすいケージレイアウト
- ウサギが暮らしやすい部屋を整えよう
- 季節ごとのお世話
- お迎えから1週間の過ごし方
- 毎日のお世話
- エサをあげよう
- 牧草について
- ペレットのあげ方
- ウサギへの野菜
- オヤツをあげよう
- ウサギへの果物
- そうじの仕方
- トイレを覚えてもらおう
- ウサギの1日をのぞいてみよう
- へやんぽをしよう
- ウサギに好かれるのはどんな人？



ウサギが暮らしやすいケージレイアウト

水飲み

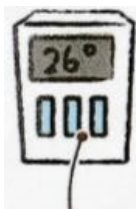
ボトルタイプなら、ウンチが入りません。水が入らないように、牧草やペレットからはなして置きましょう。

床材・スノコ

ケージの床は床材やスノコで覆うようにして。ウサギの足の裏に負担をかけません。

温度・湿度計

ウサギは暑さに弱いです。部屋の中でも場所によって温度・湿度が違うので、温度・湿度計はケージのそばに。



エサ入れ

ウサギがひっくり返すことがあります。重たい容器やケージに固定できる商品がよいです。

トイレ

ウサギは物かげやすみっこで排泄する習性があります。トイレはケージのすみに置きましょう。

牧草入れ

高さが合わないと、牧草を食べる量が減ってしまう心配があります。ウサギが食べやすい高さになるように設置しましょう。

かじり木

かむことはウサギのストレス発散になります。





1 のびのび過ごせるサイズ

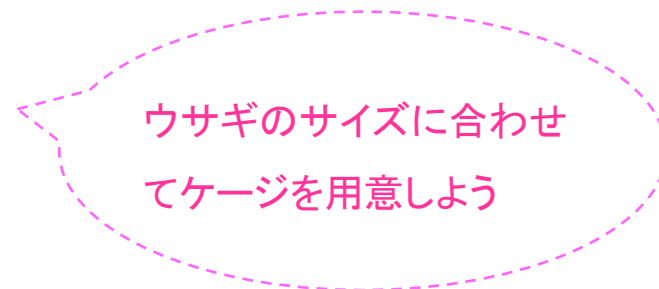
トイレや食器類などを置いたときに十分に足をのばせるスペースが必要です。ウサギが立った時に天井に頭がつかない高さが欲しいです。最低でも、横幅60×奥行50×高さ50cm以上のケージにしましょう。

ウサギが大人になったときの大きさを考えて、十分な大きさで、丈夫なケージを選んでください。



2 足の裏に負担がかからないよう！

ケージの床が金網なら、なるべく目の細かいものに。プラスチックのスノコや牧草の座布団など敷いてあげると、より安心です。



ウサギのサイズに合わせてケージを用意しよう



3 年齢に合わせて調節を！

若いウサギは小屋に乗って遊んだりしたとしても、シニアになると遊ばなくなり、反対にケガをすることもあります。年齢に合わせたレイアウトを考えて！



ウサギが暮らしやすい部屋を整えよう

✓ 過ごしやすい環境にしよう

ウサギは1日のほとんどをケージの中で過ごします。ですから、ケージをどこに置くかはとても大事なことです。そして、ウサギは温度や湿度によって、体調が変化してしまうほど、デリケートです。ウサギが過ごす部屋の温度や湿度はしっかりと管理しましょう！

● 快適な温度と湿度

ウサギは汗をかけないので、体に熱がこもりやすく、**熱中症**になります。ちょっとした温度と湿度の差でも、体調が悪くなってしまうです。エアコンやヒーター、加湿器、除湿機などで室内の温度・湿度を一定に保ちましょう。

・温度 18～25℃

・湿度 40～50%

温度管理よろしくね



部屋のすみ

たくさんのものが見えすぎると、ウサギは不安になり、ストレスです。ケージの後ろに2つの壁がくるようなすみっこだと、安心して過ごせます。

日差しがある

直射日光はNGですが、ウサギの生活リズムを整えるには、太陽の光が差す場所がベスト。朝は明るく、夜は暗い空間にしましょう。

風通しがよい

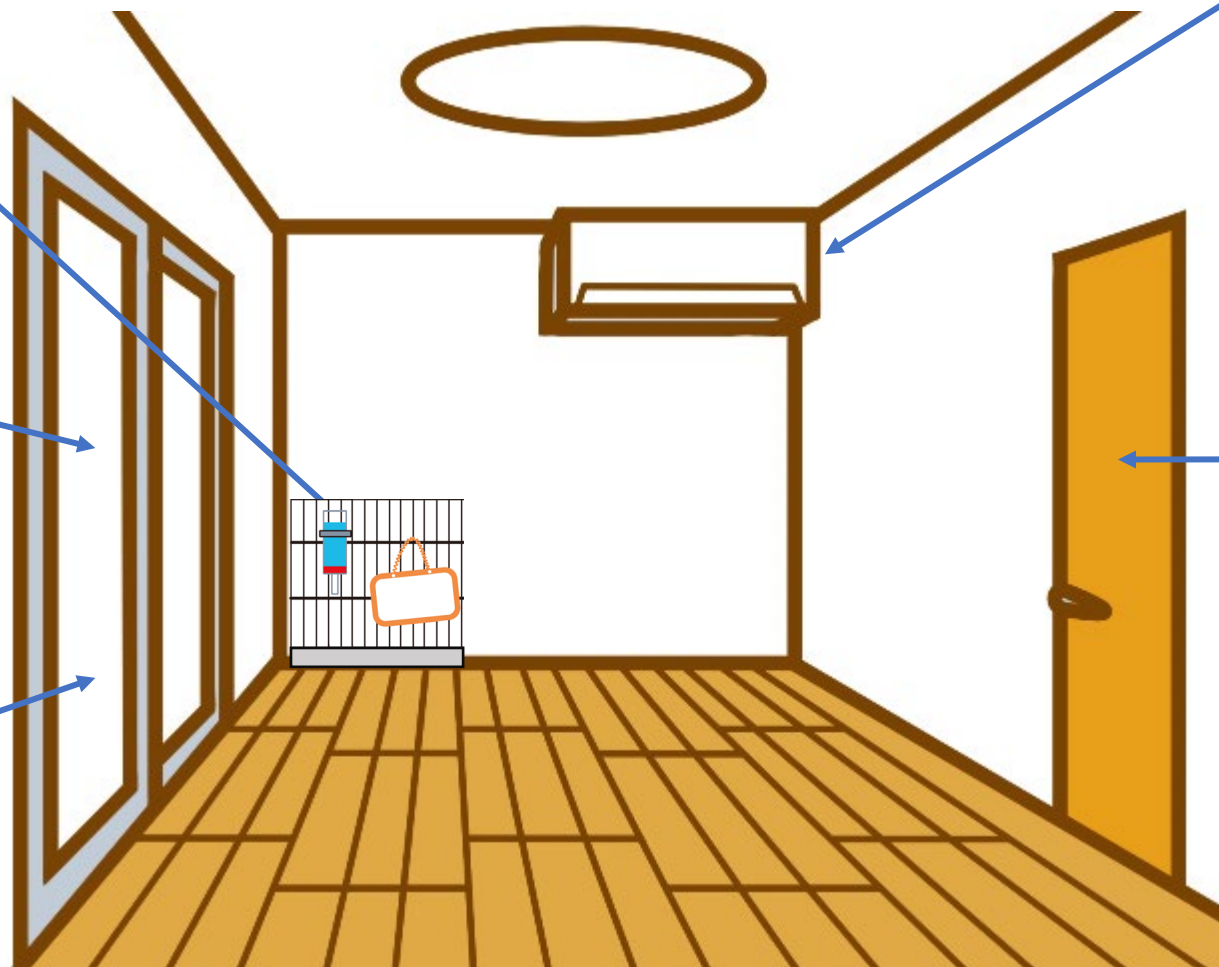
自然の風はウサギにもよいもの。換気をして、気持ちよい空間にしましょう。

エアコン

エアコンで温度と湿度を管理しましょう。エアコンの風はウサギのケージに直接当たらないように。

出入り口からはなれている

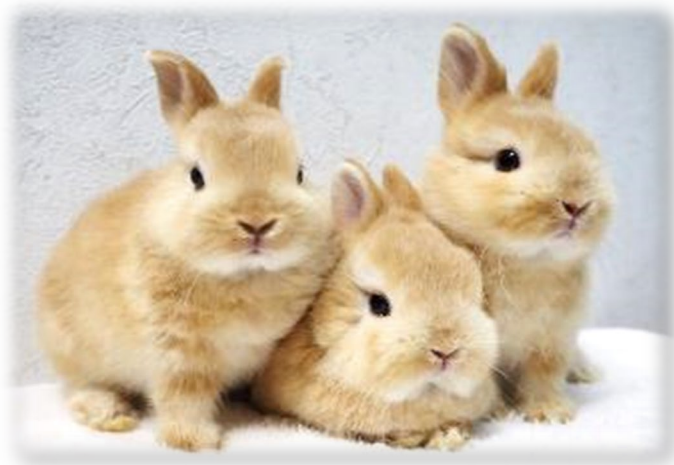
ウサギは耳がよいので、人が生活している音もよく聞こえます。ケージはなるべく人が出入りするところから離れた場所にしましょう。



季節ごとのお世話

✓ 温度や湿度の変化 に気をつけて

季節の変わり目は体調を崩しやすくなります。もともと、季節の変化が少ない土地で育ったウサギたち。それぞれの季節に合ったお世話をして、うさぎの健康を守りましょう。



春&秋

ぬけ毛対策をしっかり！

季節の変わり目は、たくさんの毛が生えかわります(換毛)。ブラッシングで抜ける毛もたくさん！放っておくと、ウサギが毛を飲みこんで病気になることがあります(胃のうっ滞・毛球症)。

夏

熱中症に注意！

部屋の温度が30℃を超えると体内に熱がこもって、熱中症になってしまいます。夏はエアコンを使って、一日中温度管理をしましょう。ケージ内に大理石や金属製のプレートなどのクール用品を置くのもよいです。

梅雨

湿度の管理をしよう

梅雨は部屋の湿度が高くなります。風通しをよくし、湿度が60%を超える場合は、除湿機やエアコンを使いましょう。エサや水もいたみやすいので、常に新鮮なものをあげて。

冬

寒さ対策を確実に！

部屋の温度が18℃以下になると、ウサギには寒すぎます。暖房を使う時は、加湿器も合わせて使い、乾燥しすぎないようにしましょう。



おむかえから1週間の過ごし方

✓ 1週間かけて ゆっくり家に なれてもらおう

お迎え当日はウサギも緊張しています。新しい環境にストレスを感じ、体調をくずすことも…。特に子ウサギは体調が悪くなりやすいので、気を配って下さい。お迎えもとから、キャリーケースでウサギを家に連れてきたら、すぐにケージに入れて、大きな声で名前を呼んだり、触りすぎないようにしましょう。

- 1 ケージを布で覆って、そっとしておく
- 2 水とエサを変える時以外はのぞかない
- 3 なれるまではケージから出さない

おむかえ当日は、うれしい
気持ちはぐっと我慢して、
そっとしておきましょう

怖いこと
しないでね！



毎日のお世話

✓ 自分で世話をして ウサギと仲よしに

ウサギと一緒に暮らすには、エサと水を与え、トイレ掃除、体のお手入れなど、毎日しなければいけないことがたくさんあります。どれも、ウサギが健康に暮らすには欠かすことができません。始めは大変かもしれませんが、お世話をすることでウサギともっと仲よしになります！

お世話してね☆

1

エサと水

2

トイレ掃除

3

便の様子、オシッコの様子を毎日観察

エサをあげよう

✓ 牧草とペレットで バランスよく

ウサギは草食動物です。繊維質が豊富な牧草をたくさん食べさせましょう。牧草は食べ放題ですが、少しずつ新鮮なものを与えるのがベスト。ペレットは足りない栄養を補うために与えます。体に合わせた量を1日2回、朝と夜に分けて下さい。ウサギは成長の段階によって、必要な栄養が異なりますので、年齢に合わせたエサをあげましょう。

ウサギの食事メニュー

● 牧草

さまざまな種類があるので、どの植物の牧草か買うときにチェックしましょう。

● 野菜

緑黄野菜がよいですが、あげすぎると糞がゆるくなることも。

● 新鮮な水

水は1日2回を目安に交換して、常に新鮮な水を用意しましょう。

● ペレット

ウサギに必要な栄養素を固形にしたもの。牧草よりもおいしいので、食べすぎないようにしてください。

**主食は牧草！朝晩に
ペレットを与えて。
野菜は好きな子だけ！**

誕生～生後6か月

子ウサギの時は、大人の約2倍のカロリーが必要です。イネ科のチモシーに栄養価が高いマメ科のアルファルファの牧草を混ぜて与え、成長期用のペレットをあげましょう。



成長期だよ

カロリー
控えめにね



生後6,7か月～1年

イネ科の牧草+ペレット

ウサギは6～7か月で大人になります。少しずつカロリーが低いイネ科のチモシー牧草とペレットに切りかえましょう。1歳まで切り替えが終わればOK。

1～5年

イネ科の牧草食べ放題！+ペレット

牧草をたくさん食べさせましょう。4歳を過ぎると太りやすくなるので、オヤツのあげ過ぎにも注意して。

健康第一！



5年～

イネ科の牧草+シニア用ペレット

ウサギは5歳からシニアになり、運動量が減ってきますので、シニア用のペレットに切りかえて。



牧草について

✓ 食べ放題が基本

牧草はウサギの主食。主な成分は繊維質なので、食べれば食べるほど、ウサギのお腹の調子を整えてくれます。奥歯の伸びすぎ(不正咬合)も防ぎます。

● 成長期のウサギには

イネ科の牧草+マメ科のペレット

イネ科のチモシー牧草は低タンパク、低カルシウム。栄養価の高いマメ科のアルファルファ牧草もありますが、主食である牧草は、イネ科の牧草にしましょう。体を大きくするために不足している栄養は、マメ科のペレットで補います。



● おとなのウサギには

イネ科の牧草+ペレット

マメ科の牧草からイネ科の牧草への切りかえは、かなり大変です。子ウサギの時からイネ科の牧草を食べさせておけば、おとなになった時に切りかえる必要はありません。

牧草といっても、たくさん種類があるから、その子が好きな牧草を探してね！

一番刈り

春～初夏に刈られた牧草のこと。茎が太く葉が長く、繊維質もたくさん。

二番刈り

夏の終り～秋に刈られた牧草のこと。細めでやわらかく、好むウサギが多い。

三番刈り

冬のはじめに刈られた牧草のこと。茎がなく、とてもやわらかい。

ペレットのあげ方

● 決まった量をあげよう

ペレットは、ウサギの体重の1.5～3%の量が目安。エサ容器に入れ、スケールなどできちんと量って与えましょう。

● 同じ時間にあげよう

ウサギの1日の行動に合わせて、朝7時、夜6時など毎日同じ時間に与えましょう。



✓ ペレットが残ったら？

1日の量なら、残すことはほとんどはいずです。残したときはオヤツの食べすぎや、体調不良かも。心配なら病院に相談しよう。残ったペレットは、毎回きちんと捨てましょう。

ペレットには、子ウサギ用、大人用、シニア用とあるので、年齢にあったものをあげましょう！

ウサギへの野菜

✓ 野菜は「糞が緩くならない程度に」

ウサギのエサは牧草とペレット。野菜は好きな子と嫌いな子がいます。特に子ウサギはお腹が弱いので、様子を見ながら与えて下さい。野草は除草剤や農薬がかかっていないものを選んであげて下さい。

野菜



- ・サラダ菜
- ・ニンジン
- ・セロリ
- ・ブロッコリー
- ・チンゲンサイ
- ・小松菜 など

野菜をあげるときの6つの基本

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| ① 野菜は水で洗い、水気を取ってからあげましょう。 | ④ 1つの野菜だけを続けてあげないようにしましょう。 |
| ② 新鮮な野菜を選んで、傷んでいる部分は取り除いて。 | ⑤ 食べ残した野菜は、早めに取り除いて。 |
| ③ 野菜を切る時は、清潔な包丁とまな板で。 | ⑥ 初めての野菜を食べた後は、糞の様子をよく観察して。 |

野草

- ・オオバコ
- ・タンポポ
- ・ハコベ
- ・クローバー
- ・ナズナなど



オヤツをあげよう

✓ ごほうびとしてあげよう

乾燥した野菜やクッキータイプなどのウサギ専用のオヤツが沢山売られています。他にも野菜や果物など、ウサギが好きなものを与えると喜びます。けれど、オヤツばかりだと栄養がかたよってしまいますので注意して。

おやつをあげるタイミング

● 食欲がないとき

いつものエサを食べないときに、あたえてみましょう。ウサギはつねに胃腸が活動していないと、病気になって弱ってしまいます。おやつがきっかけで、食欲があがることがあります。

● しつけをするとき

トイレで排せつができた時、自分でケージに戻った時、名前を呼んだら飼い主の所へ来た時などに、大好きなオヤツを少しだけあげましょう。

● ごほうびに

爪切りやブラッシング、抱っこの練習が終わった後などに、ごほうびのオヤツをあげましょう。「がまんしたらおいしいものがもらえる」と、苦手なことを嫌がらないようになります。



おやつほしい！



ウサギへの果物

✓ 果物は、ひと口 だけにして

果物は糖分が多いです。ウサギが好きなだけあげると、主食の牧草を食べなくなり、肥満になって、病気になる可能性があります。

甘いものは少し
で十分だよ！



果物

- ・イチゴ
- ・リンゴ
- ・メロン
- ・ブドウ
- ・オレンジなど



● 甘えとしつけ

ウサギはとてもグルメです。おいしい物が大好きです。おやつはもちろん、甘い果物や、時にパンなどの人間のごはんもねだるウサギもいます。しつけにオヤツなどを使いますが、ねだっているからと言ってウサギに与えるのは甘やかしです。注意しましょう！

人間のごはんは与えない！

そうじの仕方

毎日しよう

● トイレそうじ

よごれたトイレ砂やペットシーツは毎日取りかえましょう。トイレの容器や、その周辺が汚れていたら拭き取ります。週に1回はトイレ容器ごと水洗いして乾燥させましょう。尿石がついたら尿石クリーナーを使って。

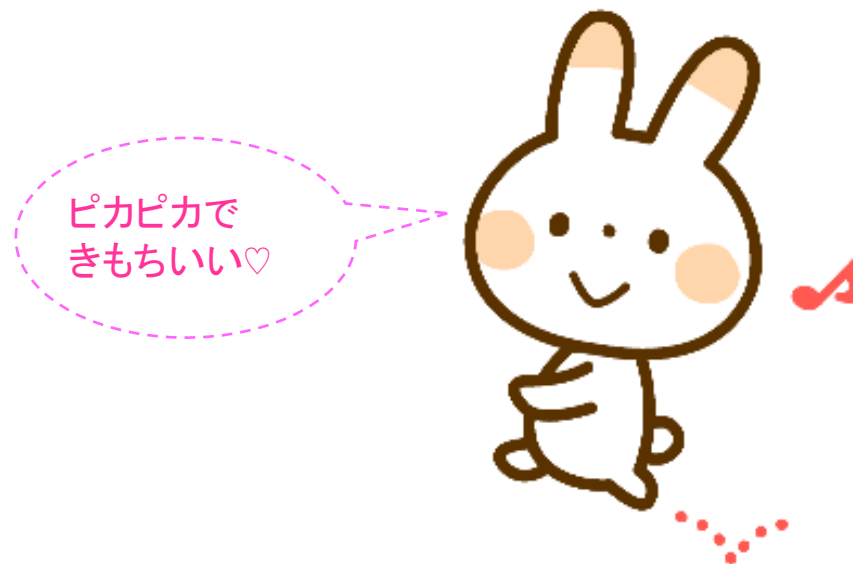
● エサ容器・水飲みを洗う

エサ容器は食事のたびに水洗いをしましょう。食器用洗剤で洗ってもかまいません。水飲みも、水を入れ替えるときにスポンジで洗いましょう。

月1回大そうじをしよう

● ケージ全体

ケージの中に入っている、スノコ、オモチャ、小屋など全ての物を取り出して、それぞれ洗います。専用のクリーナーもあります。洗った後は、太陽の下でしっかりと乾かしましょう。



トイレを覚えてもらおう

✓トイレを覚えます

ウサギはとても綺麗好き。そのため、決まった場所でオシッコやウンチをする習性があります。その習性を使って、トイレを覚えてもらいましょう。大事なのは、「すぐにできるようになって！」と思うのではなく、ウサギが失敗してもイライラしないこと。できるようになればいいな、という気持ちでゆっくり覚えていってもらいましょう。

1 トイレはすみのほうの決まった場所に置く

トイレはケージや部屋のすみで、かべに接する場所がおすすめ。安心できる場所だと、ウサギが排せつしやすくなります。



3 オシッコをしそうになったらトイレへ

しっぽを上げてそわそわしたり、床のにおいをかいだりしはじめたらトイレのサイン。トイレ容器の上に連れていきましょう。

2 においがついたものをトイレに入れる

オシッコをふいたティッシュや、ウンチをトイレに入れましょう。排せつ物のにおいで、ここがトイレだとわかります。排せつ後はティッシュを片づけて。

できなくてもせかさないでね♡

4 上手にできたらいっぱいほめて！

きちんとトイレで排せつができたら、ほめたり、なでたりして、オヤツを上げて。



ウサギの1日をのぞいてみよう

あさ

寝る準備スタート

ウサギは夜行性なので、夜が一活発。朝、飼い主さんが起きてきた頃に、寝る前のエサを食べます。



夕方

活動開始！

目が覚めると、またごはんを食べます。じょじょに動き出して遊びはじめます。

ひる

ぐっすりねる時間

ごはんを食べたらお腹がいっぱい。トイレに行く以外は、ほとんど寝ています。物音には敏感なので、静かにしてください。



よる

遊ぶの大好き！

ウサギが一番元気な時間！遊んだりして活発に過ごします。夜9時ごろ、ウサギが元気な時にササッと世話をすませましょう。



へやんぽをしよう

✓へやんぽで健康に！

「へやんぽ」とは、部屋の中でウサギをお散歩させること。へやんぽの時にオモチャを使って遊ばせましょう。1日中ケージの中で過ごすと、ウサギだって運動不足になります。ストレスにもなり、そのせいで病気になったり、攻撃的な性格になります。

● 潜るオモチャ

野生では、ウサギは地面に穴をほってその中で暮らしていました。そのため、狭くて暗い場所が大好き！

● 転がすオモチャ

ボールを鼻でつついて転がしたり、かじってふりまわしたりして遊びます。

● 掘るオモチャ

野生のウサギは地面に穴を掘っていたので、掘る行動も大好き。布を掘ったり、箱にウッドチップを入れてあげるとホリホリします。

約束だよ♪



へやんぽルール

つかれすぎない遊び時間に

へやんぽ時間は、30分～2時間が目安です。遊ばせすぎると、ウサギが疲れてしまうことも。飼い主さんがきちんと見守れる時間内にしましょう。

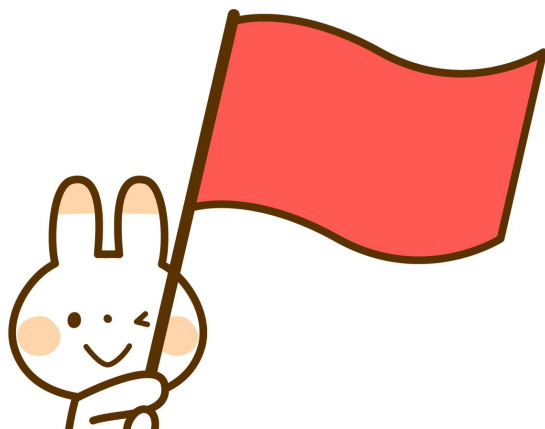
なるべく毎日同じ時間に

遊ぶ時間が決まっていないと、ウサギのストレスになってしまいます。生活リズムを整えて、健康的な生活を目指しましょう。



✓ お片づけしよう

へやんぽのときに、ウサギが間違って危険なものを口にしないように、あらかじめ右に書いてあるものは片づけて。ウサギが入りこみそうな隙間もなくしておきましょう。



✕ 紙類

新聞紙や雑誌、ティッシュペーパーなどは食べると病気の原因になることがあります。

✕ タバコ

少しでも体の中に入ると、死んでしまう可能性があります。絶対にウサギのいる部屋に置くのはやめましょう。

✕ 化粧品、薬、洗剤、殺虫剤

少し口にただけでも中毒になります。ウサギが行かない場所にしまっておきましょう。

✕ ゴム・プラスチック製品

小さなおもちゃや、ヘアゴム、クリップなどは、おなかの中でつまってしまいます。

✕ 観葉植物

ヒヤシンスやポトスなどはウサギがかじって中毒を起こすことがあります。



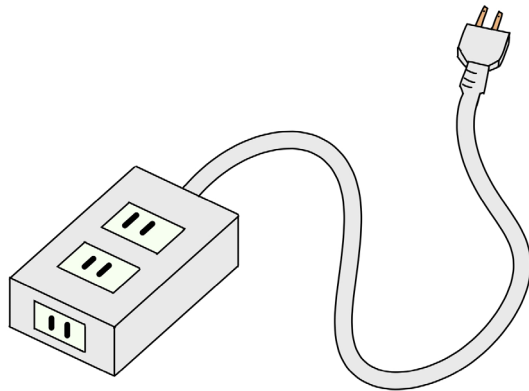
⚠ 家具からの落下

ウサギの骨は軽くてもろいです。そのため、高い所から落ちただけでも骨折してしまう危険があります。



⚠ 電気コードで感電

ウサギが電気コードをかじってしまうと、感電したり、火事が起こったりする危険が。ウサギが口にしないように、コードをカバーするとよいでしょう。



⚠ じゅうたんなどでケガ

じゅうたんに爪をひっかけたりしてケガがをすることも。ウサギが遊ぶ部屋の床は、走りまわっても安全なものにしましょう。ペット用のフロアを敷いてあげるのもよいですね。



ウサギに好かれるのはどんな人？

✓ウサギに好かれる 接し方を知ろう

ウサギのことをまだよく知らないうちは、「ウサギって何を考えているのかわからない」「気持ちが通じ合っているのかな・・・？」と不安になることもあるかもしれません。でも、ウサギのことをよく観察して、好かれる接し方を覚えればきっと心が通じ合うはずです。



●たくさん話しかける

ウサギは目よりも耳でたくさんの情報を集めています。出かける時や、帰ってきた時にウサギに話しかけると「あ、この人こっちに興味があるんだ！」と飼い主さんのことが気になってきます。



●しつこくしすぎない

リラックスしているウサギを無理やり起こしたり、何度もしつこく声をかけるのはNG。スキンシップのつもりでも、ウサギにとっては迷惑になってしまいます。きらわれる原因になることもあるので注意しましょう。



●においをかがせる

ウサギはにおいで、そこにどんな相手がいるかが分かります。普段からケージ越しに飼い主さんの手や頬のにおいをかがせましょう。かぎなれたにおいは安心するので、怖がらなくなります。

●ウサギをよく観察する

ウサギは感情表現が豊かな生き物。特に目はウサギの心を表すといわれています。タイミングが合った接し方をすればもっと好かれるはず。



いかがでしたか？

- ウサギライフを思いっきり
エンジョイして下さい！
- ウサギをもっと知りたい方や
もっと勉強したい方はJCRA
認定ウサギマスター検定
を受けてください！

